



WEB 会議システムの活用により海外に向けた展開

企業データ	本社・拠点	奈良県北葛城郡王寺町島田8-1757-3
	業種	金属製建具工事業 / 建築金物工事業
	従業員数	従業員 : 30名 (男性 : 18名 女性 : 12名)
	資本金	1,000万円
	事業概要	建具工事 / 建築金物工事

WEB 会議システムの活用で
国内外で
円滑なコミュニケーションをとることができました！

奈良本社・大阪営業所・ベトナム・テレワーク社員が
WEB 会議システムで繋がっています！



専務以外の社員は全てテレワーク対応としました。
その際、必要な設備の支給や WEB 会議システムの活用により、働きやすい環境づくりに努めました。

社員全員を対象にテレワークの実施

新型コロナウイルス感染症の対策や海外往来禁止に伴い、1 回目の緊急事態宣言中は社長・

壁 新たな働き方に向けた積極的な環境づくり

- ◆テレワークを実施する上で、プリンター・モニター・タブレット・Wi-Fi 環境等が必要となる。
⇒必要なものは会社から支給。
- ◆テレワークに伴い、以前と比べてコミュニケーションが取りづらく、スケジュール管理も難しい。
⇒コミュニケーションは朝礼・夕礼を実施。グループラインを活用し国内外でリアルタイムな情報共有を展開。工事管理や営業管理、ミーティング管理等のスケジュール管理は外部システムにて実施。

WEB 会議システムから見た効果

同社では、ベトナムに子会社や協力会社があるほか、大阪営業所もあることから、一部で元々 WEB 会議等は活用していました。

そのため、海外往来禁止の中でも、海外事業所や協力工場とは従来通りコミュニケーションを取り、業務を円滑に進めることが出来ました。海外とのコミュニケーションが円滑になることは、現地の情報が入ることや、海外人材の獲得にも繋がっており、海外往来が難しい今だからこそ現地で良い人材を獲得できるチャンスともなりました。

一方、社内同士のコミュニケーションにおいては、WEB 会議システムを通じたやり取りに慣れておらず、やりづらさを感じる声が挙がりました。

その状況を改善するためにテレワーク中も WEB 会議システムで朝礼・夕礼を実施し、朝礼時にはクイズを出題する等、良い雰囲気をつくるよう心がけました。その結果、今までコミュニケーションが少なかった部署とも交流を持つ機会が増え、さらに今まで分からなかった家族像等が垣間見える機会もあり、これまで以上に親近感を持てるようになりました。

社員からの声

～ テレワークを実施したうえでのメリット・デメリット ～

メリット

- ◆従通勤時間が削減出来た
- ◆海外拠点とのコミュニケーションが円滑になった

デメリット

- ◆全ての書類を社内同様で管理は出来ず業務効率が一部、落ちる部分もあった

今だからこそ海外に目を向けて

同社では、今回海外への往来が禁止されている中でも対応ができたポイントとして、以前から海外取引や海外人材に目を付け、非対面でもいかに効率的に業務を遂行出来るかのスキームを構築していたことが功を奏したと考えています。今後は、海外往来が出来ない状況であることをチャンスとし、既に海外の協力工場で展開している海外の製造工程チェック等のノウハウを活かし、海外の新規取引先開拓に繋げる方針です。

一方で、現状は日本で設計・施工・品質・生産を管理し、WEB 上で海外の製造工程をチェックしていますが、VR 等のデジタル技術を考慮しても、ものづくりの製造技術の伝承は現場で行わないと難しい点があり、その部分をどのように乗り越えていくかが今後の課題となっています。

社内では引き続き、ミーティング等は WEB 会議システム等を利用して効率化を図り、テレワーク可能な業務に関しては継続する見通しです。しかし、在宅勤務を長期間実施するのは精神的なデメリットが生じる部分もあり、感染拡大防止もふまえて対策に取り組んでいきたいです。

